

令和3年度全国中学生ウエトリフティング選手権大会
COVID-19 感染拡大防止ガイドライン

令和3年10月28日 改訂
高萩市ウエトリフティング大会実行委員会

(公社)日本ウエトリフティング協会の「新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」を遵守するとともに以下の感染症対策についてご理解・ご協力ください。なお、前述したガイドラインの改訂や新型コロナウイルス感染症の感染状況により、本感染拡大防止策を変更する可能性もあり得ることを予めご了承ください。

1 基本的開催方針

- (1) 開催地及び主催者・主管者より「中止要請」があった場合は開催を中止する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、以下の状況となった場合、高萩市ウエトリフティング大会実行委員会は、(公社)日本ウエトリフティング協会及び茨城県ウエトリフティング協会と大会開催可否について検討する。
 - ① 新型インフルエンザ等特別措置法に基づく緊急事態宣言が茨城県に発令された場合。
 - ② 競技会開催地である茨城県独自の緊急事態宣言等の発令または、高萩市が茨城県に感染拡大市町村に指定された場合。
 - ③ 茨城県内医療機関の新型コロナウイルス感染症患者受け入れが対応不可となった場合。
 - ④ 参加者に新型コロナウイルス感染症が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合。
 - ⑤ その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催が困難と想定される場合。

2 大会に関わる全ての方の遵守事項

- (1) 感染者、濃厚接触者、感染の疑いのある者については参加することができない。
- (2) 大会前2週間の体調チェックを行い、(様式1)体調チェックシートを来場日毎に受付で提出すること。当日の検温で概ね37.5℃以上の場合や、感染のおそれのある場合には参加及び入場を認めない。
- (3) (様式1)体調チェックシート等は、高萩市教育委員会HPを参照すること。
- (4) 常時不織布製のマスクを着用すること(運動時以外)。
- (5) 手洗い、手指の消毒を行うこと。
- (6) 身体的距離を確保すること。
- (7) 集団での活動、発声、応援及び近距離での会話を避けること。
- (8) 試合会場(高萩市文化会館)での飲食は禁止とする。(運動時以外)
- (9) 来場日毎、「いばらきアマビエちゃん」に登録すること。
- (10) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に報告すること。
- (11) 宿泊を伴う場合は、原則宿舍と会場のみでの往復とし、その他の外出等は必要最低限とする。
- (12) 大会に関わる全ての者は、競技会参加の14日間前までに新型コロナウイルスのワクチン接種を2回終えているものとする。なお、ワクチン接種を終えていない者は大会参加5日前以内にPCR検査等を受け、結果が陰性である必要がある。

3 必要携帯品

- (1) 不織布製のマスク
- (2) 体温計…健康観察用に、各チームまたは個人で持参すること。

- (3) 個人用レジャーシート等…選手控室において直接地面に接触しないように使用すること。
- (4) タオル…こまめに手洗い時等に使用すること。(複数枚持参を推奨) 他人との共用は避けること。
- (5) ゴミ袋…本競技会はゴミ箱を設置しない。ゴミの持ち帰り用としてチームまたは個人単位で準備し、持ち帰ること。
- (6) (様式1)体調チェックシート…来場前2週間の体調チェックしたもの。

4 来場制限実施方法

- (1) 本大会の競技会場(高萩市文化会館)に入場可能な者は次の通りとする。
 - ① 大会役員 ② 競技役員 ③ 競技補助役員 ④ 選手
 - ⑤ セCOND(選手1名につき1名のみ)
 - ⑥ 保護者(選手1名につき1名のみ)
 - ⑦ 報道関係者 ⑧ 高萩市ウエイトリフティング大会実行委員会関係者
- (2) 来場前2週間の体調の記録を、(様式1)体調チェックシートに行う。
- (3) (様式1)体調チェックシートを提出及びワクチン接種済証明(ワクチン接種券を含む)もしくは新型コロナウイルス感染症検査の結果(陰性)が記載された書面(コピーもしくはメール等の画面提示可)を提示し、IDカードを受け取る。
IDカードは会場から離れる場合には受付へ返却する。(文化会館または体育館)
- (4) 2日目も同様に(様式1)体調チェックシートを提出し、IDカードを受け取る。
※ 選手、指導者セCOND及び保護者については(様式2)入場者リストを都道府県毎に作成し事前に大会実行委員会事務局に提出すること。

5 役員・関係者以外の入場制限方法(入場手順)

- (1) 高萩市民体育館において受付を済ませる。寒さが予想されるので検量時間に合わせて来場すること。
- (2) 控室を区分けしているのでその枠内のみ使用する。
- (3) 検量を実施する。(市民体育館トレーニング室 予定)
- (4) ウォーミングアップの時間になったら、文化会館へ移動する。
※ 貴重品の管理は自己責任においてする。
※ 文化会館にストレッチエリアを設ける。(2階ホワイエ)
- (5) アップ場入場口ではIDチェックを実施するので必ずIDカードを持参すること。
- (6) 試合終了後は速やかに会場から退出すること。

6 競技会(※印は特別ルール)

- (1) 検量
 - ① 検量室に入るのは選手のみとする。
 - ② 試技票は事前に配布し、監督サインも含めた必要事項を記入して持参する。検量時は記載された体重を目視で確認し、係員がチェックを入れる。※
 - ③ 検量待ちの選手は表示の通り待機する。
 - ④ 検量時もマスクの着用を認める※
 - ⑤ 係員は最少人数で対応する。
 - ⑥ 選手毎に計量器の消毒を行う。
 - ⑦ 室内の換気を常に行う。
- (2) アップ場
 - ① 1選手につきセCOND1名のみとする。※
 - ② 選手以外には不織製マスクを着用する。大きな声で指示を出さない。

- ③ 椅子は選手数のみ設置する。
- ④ アップ場は指定された面を利用する。
- ⑤ 炭酸マグネシウムは小分けにしてアップ場入口で各選手に配布する。※
(使用後は回収箱に入れ、廃棄する。)
- ⑥ 持ち込んだものは全て持ち帰る。
- ⑦ アップ場での練習は不可とする。

(3) 招集所

- ① 椅子は適切な距離を保ち、配置場所から移動しない。
- ② 重量変更は、変更用紙に記入して申告する。筆記用具は持参する。
- ③ 大きな声で指示を出さない。声援は控える。
- ④ 炭酸マグネシウム容器は設置しない。※
- ⑤ 持ち込んだものは全て持ち帰る。

(4) 試合場

- ① 選手のマスクの使用を認める。※
- ② 器具係は、不織布マスクを着用する。
- ③ 選手が交代する毎にバーを消毒シートで拭く。
- ④ 審判団はマスクを着用する。
- ⑤ 状況によっては、競技時間を変更し実施する場合もある。※
- ⑥ グループ終了毎に、審判席、使用機器の消毒を行う。
- ⑦ 審判席への飲物の提供は行わない。

(5) その他

- ① 開会式、閉会式は実施しない。
- ② 階級毎の表彰は、壇上で授与はしないが、メダルセレモニーのみ実施する。(3 位以内)
- ③ カメラゾーン、インタビューコーナーは設置しない。
- ④ スタートリスト、競技結果等は原則紙では配布せずHP 等への掲載のみとする。掲載方法はあらかじめ周知する。